

東京国立博物館への岩宿博物館所蔵資料の貸出

令和8年は、日本で「旧石器時代」が発見されて80年の節目にあたることから、東京国立博物館において、特別企画「ビフォー縄文ー旧石器時代発見80周年ー」が開催されることとなりました。

この開催に際し、同館からの要望を受けて槍先形尖頭器をはじめとする相澤忠洋蒐集考古資料を貸し出し、岩宿博物館としては初めて市外で展示することとなりましたのでお知らせします。



槍先形尖頭器



岩宿遺跡出土石器 (相澤忠洋蒐集考古資料)

■ 東京国立博物館と特別企画「ビフォー縄文ー旧石器時代発見80周年ー」

東京国立博物館（トーハク）は、1872年（明治5年）に創立された日本で最も長い歴史を持つ博物館です。国立科学博物館や国立西洋美術館と同様に上野恩賜公園内に立地し、東京ドーム約2.2個分の敷地の中に12万件もの所蔵品を有し、国宝90件、重要文化財652件と質・量ともに日本を代表するコレクションを有しています。

本企画は旧石器時代の発見から80周年を記念して企画されたもので、東京国立博物館側からの要望により、休館中の岩宿博物館の所蔵資料を貸し出すこととなりました。

■ 資料貸出の概要

岩宿博物館では本企画の開催にあたり、相澤忠洋氏が旧新田郡笠懸村（現みどり市）で発見し、岩宿遺跡発掘のきっかけとなった槍先形尖頭器をはじめ、相澤氏が調査・研究し、令和6年に国登録有形文化財に登録された相澤忠洋蒐集考古資料などを貸し出します。なお、みどり市市制施行後、槍先形尖頭器などを市外で展示するのは初となります。

本企画を通じて、岩宿遺跡および相澤忠洋氏の功績を全国に発信するとともに、来春公開される映画『赤土に眠る』のほか、岩宿遺跡や本市への関心向上、さらにはリニューアル後の岩宿博物館への来訪を促進してまいります。

■ 貸出資料 合計203点

- ① 槍先形尖頭器（国登録有形文化財）
- ② 岩宿遺跡駐車場地点出土石器（市指定重要文化財）
- ③ 相澤忠洋蒐集考古資料（国登録有形文化財）
- ④ その他（石器作りの道具、復元した石槍など）



■ 展示期間

令和8年6月16日(火)から令和8年8月23日(日)まで

■ 展示会場

東京国立博物館 平成館企画展示室

問い合わせ

みどり市 教育部 文化財課

TEL 0277-76-1701(岩宿博物館)

Email iwajukuhaku@city.midori.gunma.jp

